

エスプラナード赤坂通りのフリーWi-Fi化が最終段階に。 2019年3月1日(金)より運用を開始します。

年々増え続けている訪日外国人客。赤坂はもともと外国人の多い街ですが、近年、さらに外国人観光客が目立つようになってきました。エスプラナード赤坂通りは赤坂見附駅に直結し、赤坂の表玄関ともいえる立地です。当組合では、訪日外国人をはじめ通りを行き交う人々の利便性を高めると共に、当商店街の集客力アップに繋げる施策として「フリーWi-Fi」の環境整備を進めてきました。今年に入りいよいよ最終段階を迎え、2月中には整備を完了し、3月1日(金)より運用を開始する予定となっています。



アンテナの設置場所について

エスプラナード赤坂通りに面している、当組合会員などのビルオーナー様に趣旨を説明し、理解の得られたオーナー様所有のビル側面をお借りして設置を進めました。2019年2月中には、紀陽ビル様から東京リトルハウス様まで合計5カ所に設置される予定となっています。

パスワード設定方式を採用

本事業のWi-Fi環境はパスワード設定方式を採用しています。国が整備を進める環境よりも出力レベルで劣るため、オールフリーではなくパスワードを入力してもらうことで通信混雑を防ぎ、訪日外国人客のみならず本当にWi-Fi環境が必要な方に使っていただけるように意図しています。

FREE Wi-Fiに関する告知方法

FREE Wi-Fiの設定方法などを記したシール等を制作し、ミューズ広場、街路灯の商店街フラッグ下のバースペースなどを使って告知していきます。

会員の皆様へ 電波状況をお知らせください。

2019年1月23日(水)よりFREE Wi-Fiの試験運用が開始されており、当組合の関係者で電波の状況をチェックしています。会員様も、ぜひWi-Fi設定をお試しいただき、電波の入りが悪いところなどをお知らせいただけますと幸いです。以下、デモのSSIDとパスワードです。

FREE
Wi-Fi
SSID/es-dk-demo
PW/00012345

お知らせいただける場合はこちらまでお願いいたします。

メール:esplanade@e-akasaka.com
FAX:03-5561-9128

メリット
いろいろ!

あなたのお店も組合に
加入しませんか?

エスプラナード赤坂商店街振興組合にご入会いただくと、会員様だけの特典と港区商店街連合会の特典を併せて受けられます。この機会にどうぞご入会をご検討ください。

[入会資格]

エスプラナード赤坂通り内で営業を行っている商工業者様

[会費]

月額3,000円を半年ごとにお支払いいただきます。

[エスプラナード赤坂商店街振興組合会員様のメリット]

- ◎当組合ではゴミ処理・リサイクル業者と一緒に協力契約。東京都の事業系ゴミ回収より割安で契約可能。
- ◎通訳サービス、海外TV放送などインバウンド対策を格安でサポート。
- ◎お店・会社の紹介やPR、クーポンや求人情報などを当組合のホームページに無料で掲載可能。
- ◎電飾看板事業の収益により、土日の集客対策やシーズンイベントなども企画・実施し、会員様をサポート。

[港区商店街連合会のメリット]

- ◎港区商店街連合会発行の区内共通商品券(プレミアム付共通商品券含む)の取り扱いが可能。
- ◎クレジットカード決済システムの導入が通常より割安。
- ◎店舗の改装費用の1/2(50万円程度)を港区より助成。※件数限定のため、詳細は港区産業振興課までお問い合わせください。
- ◎当組合の推薦により、港区商店グランプリへの参加が可能。

掲載ご希望の会員様募集中!

「エスプラナード」に掲載をご希望の会員様を募集しています。編集スタッフが貴店へお伺いし、取材をさせていただきます。会員様の費用は無料となっておりますので、どうぞお気軽にお申込みください。

お問合せ

エスプラナード赤坂商店街振興組合 事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂3-10-5 赤坂クインビル4F TEL.03-5561-9125 FAX.03-5561-9128
E-mail/esplanade@e-akasaka.com 担当者/二宮 Mobile:080-3084-3339

■商店街の詳しい情報はこちらから

エスプランード赤坂



ときめきの街づくり、はじまっています。

エスプランード

昭和中期の華やかな大人の社交場 キャバレー「ゴールデン月世界」。 再びその歴史にふれ、魅力に迫ります。

前号の会報誌では、赤坂全体がきらびやかだった昭和の高度経済成長期にひときわ存在感を放っていたキャバレー「ゴールデン月世界」について、月世界ビルの総務部長を務める齊藤久見子氏のお話をご紹介しました。今回、「ゴールデン月世界」でショーのコーディネートを担当していた当時の関係者の方に、古き良き時代の貴重なお話を伺いすることができました。



始まりは福岡から。 ガラス張りの経営で大成功。

「ゴールデン月世界」のオーナーは、21歳という若さで昭和24年からキャバレーを共同経営しており、昭和30年には、福岡の門司で「大世界」というキャバレーを自身で開店しました。「大世界」は当時では珍しい明朗会計で、入場料、ホステスチャージ料、サービス料などをはっきりと打ち出し、ドリンクは一杯注文するごとにテーブルに置いたチケットを一枚切り取り、お客様も何杯飲んだかわかるシステムになっていました。夜の商売をガラス張りにしたことが受け、その後、小倉に「月世界」という店を出し同じ明朗会計で大成功しました。門司・小倉で大成功を収めたことから、地元の関係者からの強い要望を受けて、博多の古い歓楽街の跡地でショーを中心としたキャバレー「月世界」を華々しく開店したのです。

ポップスやジャズの 世界的シンガー、 昭和の大スターも出演。

「ゴールデン月世界」では、私はショーに関する“仕入れ”を担当していました。オーナーはショーが大好きで、お客様にも心から楽しんでほしいという考えでしたので、演出していただくミュージシャンにもこだわりがありました。サミー・ディビスJr.やサラ・ヴォーン、ジュリエット・グレコ、レイ・チャールズ、ディオンヌ・ワーウィック、ポール・アンカ、サルヴァトール・アダモといった世界的なミュージシャン、日本人では越路吹雪にも出演していただきました。

に有名な作詞家となる岩谷時子さんが、樂屋に遊びに来ていたのも懐かしい思い出です。

「ゴールデン月世界」が他店と大きく異なっていたのは、カーベチャージやドリンク代などを含むセット料金が決まっていたこと。出演者によっては赤字になりかねないのですが、オーナーはどんなスターのショーも均一料金で楽しめることを広告宣伝費と捉えていたようです。

「ゴールデン月世界」の姉妹店であるリトルクラブ「ゴールデンゲイト」は月世界よりカジュアルな店でしたが、青江三奈、雪村いずみ、朝丘雪路、木の実ナナ、弘田三枝子、安东尼オ古賀、藤圭子など、昭和を代表する歌手にもたくさん出演していました。

めました。音楽やショーを楽しむ場が変わっていくことを感じたのでしょうか。仕事に対して常に真摯だったからこそ時代を読む力もあり、世の中の変化をいち早く察して、いいタイミングで店を開めることができたのだと思います。

キャバレーやナイトクラブが全盛だった昭和の時代、赤坂は大人が音楽を楽しむ街でした。今ではキャバレーはすっかり姿を消してしまいましたが、当組合では、古き良き時代のスピリットを受け継ぎ、毎年、秋にジャズ・コンサートを開催しています。年に一度とさやかではあります、大人が音楽を楽しむ場を提供し続けていきたいと考えています。

いくつもの伝説と共に、 時代は終わっていきました。

物事は、始めるよりも終わらせる方が難しいものです。まだキャバレーが集客力を持っていた時期に、オーナーは「ゴールデン月世界」の閉店を決



NEWS

平成30年12月、赤坂地下歩道のブラックライトを交換。 再び、星空が輝き始めました。

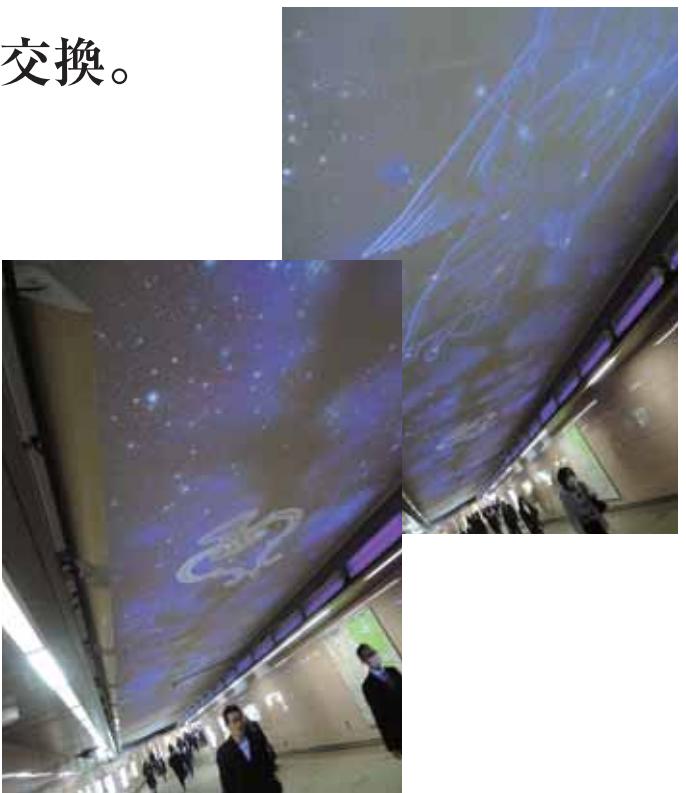
赤坂地下歩道の天井には、ルミアートが描かれています。これは、あらかじめ特殊な塗料（ルミライトカラー）で絵を描いておき、そこに光（ブラックライト）が当たったときに色鮮やかに発光して絵が浮き立って輝くというものです。

平成11年に地下歩道が完成して以来、1日に数度ブラックライトを点灯させ、星空のアートで行き交う人を楽しませてきました。

その後、東日本大震災の影響で2段あるうちの下段のみブラックライトを点灯させていた中、2年ほど前には、半数近く切れていたブラックライト球を交換。しかし、当時は点いていた球が切れ始め、また半数近くが切れた状態になっていました。

平成30年12月中旬、電飾看板事業の収益金を使って、すべてのブラックライト球を交換すると共にアートが見えにくく上段の数ヶ所にもブラックライトを設置。赤坂見附の象徴として、再び輝きを取り戻しました。

今後は、見えにくい出入口付近の上段に追加施工する予定です。また、現在は朝と夕方、夜間のみの点灯となっていますが、昼間も点灯する方向で調整を進めています。



Column 理事長コラム vol.8 エスプラナードエトワール

星 空 が 出 現 し ま す。 赤 坂 見 附 の 地 下 遊 歩 道 の



エスプラナード赤坂商店街振興組合
城所 ひとみ

平成11年、以前ご紹介した地下公共駐車場の完成が3週間後に近づいたときのこと。私は1つ課題が残っているような気がしていました。公共地下駐車場は赤坂見附駅に隣接するように位置しています。

地下駐車場から地下鉄駅の地下道と接続するには、120メートルほどの通路を地下に貫かなければなりません。私は、この通路を無味乾燥な地下道とすることに抵抗感があったのです。

そこを単なる通路や歩道ではなく地下遊歩道にすることを提案し、採用されていました。しかし、建設省（現国土交通省）の実施設計では通路の中は白っぽいタイル仕上げが予定されています。もっと楽しい雰囲気の装いにしてほしい…そう考えていた私はふと閃きました。ルミアートの手法を使って天井を星空のように彩ったらどうだろう。星座が描かれていたら、星空を見ながら散歩しているような気分になれるのではないかとうかと。

当時の東京国道事務所長Yさんにその旨をお話になると、即座に「それはいい、それでいいよ」とおっしゃってくださいました。地下公共駐車場の竣工式までに3週間

を切っています。Yさんと相談し、竣工式が開かれる会場の天井にルミアートを施そうということになりました。

平成11年6月2日、赤坂地下公共駐車場の竣工式当日を迎えました。当時の建設省（現国土交通省）大臣、港区長、さらに建設工事に関係した方など、式典にはそうぞうたる顔ぶれが揃っていました。来賓の方々からご祝辞をいただき、私も発案者を代表して挨拶をさせていただきましたが、しばらく話してから「どうぞ皆様、お座りになっておられる頭の上をご覧ください」と話題を切り替えました。

その瞬間です。それまで明るく照らされていた会場の蛍光灯がすべて切られました。真っ暗闇になつたのもつかの間、天井に向かって光が射すと、そこは星空でした。流麗な音楽が響くと共に、天の川を渡る白鳥の姿がルミアートで浮かび上がったのです。

大きなよめぎが起り、やがて万雷の拍手に包まれました。再び会場が明るくなつた時、「いかが

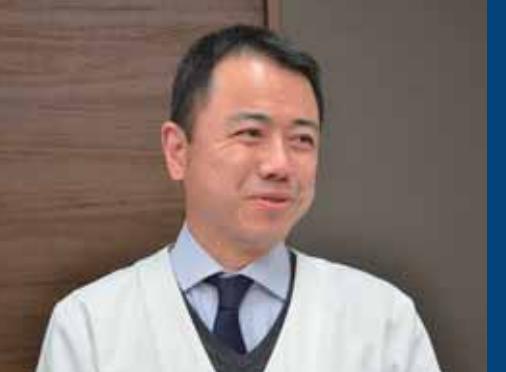
でしょう。このようなルミアートで地下遊歩道のすべての天井を彩っていただきたいのですが…」と私は言い、挨拶を締めくくりました。Yさんと私は、建設省（現国土交通省）大臣が直々に列席されるセレモニー本番で、ルミアートを取り入れてもらえるよう訴えようと作戦を練っていました。上意下達でトップの決済が下りるようとに画策していました。うれしいことに実際にそのように進みました。

駐車場の竣工後、追加工事によって天井全体がルミアートで彩られた地下遊歩道は「エスプラナードエトワール」という愛称が付けられました。現在も美しい星空のアートで、行き交う人々をつかの間楽しませてくれています。



地下歩道開通当時のルミアート

Visit of member 会員様訪問 008 赤坂青野 赤坂見附店



赤坂ならではの粋な味。
2019年に創業120周年を迎える
和菓子の老舗「赤坂青野」。

た佐久間俊雄氏のインタビューを含むノンフィクション「ジョブスの料理人」の中で、赤坂青野さんの和菓子は「ジョブスが愛した和菓子」と嬉しい語る大兼店長の姿に、お客様を大切にしている様子がしのばれました。

大切なのは、未来永劫、 お店を続けていくこと。

今年で120周年を迎える赤坂青野さん。この先もずっとお店を続けていくことを大事にしたいと大兼店長はおっしゃいます。「時代の流れの中でたくさんのお店が開店してはなくなっていました。お客様に『昔近くで働いていたので、懐かしくて寄ってみたら、まだあったのね』と言っていたことがあります。赤坂にあって当たり前のお店であり続けたい。和菓子を通して赤坂の街を活性化していけたらと思っています。当組合としても、共によりよい街の未来を模索していきたいと考えています。



新商品の「東京キナコ」と
「焼きもんぶらん」

東京メトロ・赤坂見附駅の10番出口をエスプラナード赤坂通りに出ですぐの場所に店を構える「赤坂青野 赤坂見附店」。「赤坂もち」「一つぶ」をはじめ数々の上質な和菓子で私たちを魅了する、老舗の和菓子店です。赤坂見附店の店長を務める大兼達也氏にお話を伺いました。

長年人気の看板商品は 「赤坂もち」と「一つぶ」。

赤坂青野さんの前身である餅菓子屋「青野」が五反田から赤坂の地へと移転してきたのは明治32年（1899年）のこと。以来、赤坂らしい粋な味を探求し、今まで味を磨き続けてきました。そんな和菓子づくりへの情熱から生まれた、ロングセラーの看板商品が「赤坂もち」と「一つぶ」です。



したが、丸ごと食べてこそ美しさが味わえると考え、蜜煮した栗を一粒入れてお饅頭に仕立てています。この工夫も赤坂青野さんが始めたものだそうです。



食感にこだわった「一つぶ」

新しい時代にマッチした 新商品が登場!

赤坂青野さんでは、最近、新商品が出たそうです。「東京キナコ」というきな粉のフィナンシェと、しっとりしながらほろほろとした食感が特徴の「焼きもんぶらん」の2つです。大兼店長に商品開発について伺うと「この2つは、旅行者が増えインバウンド需要が高まる中、新しいお土産になるもの、赤坂を知っていたたくものとして開発されました。スタッフも久しぶりの新商品に新鮮な気持ちでお店に立っているんです。



故スティーブ・ジョブスも愛した 風味豊かな味。

四半世紀にわたってシリコンバレーで鮨・会席料理店を続けてき

[SHOP DATA]
赤坂青野 赤坂見附店
東京都港区赤坂 3-1-11
TEL:03-3586-0007
FAX:03-3589-0055
営業時間／月～金 9:30～21:00
土 9:30～19:00
日祝祭 10:00～17:00

